

東北学院大学工学部沿革（年表）

1962. 2（昭和37年）	東北学院大学工学部設置（小田学長・工学部長を兼務） （機械工学科・定員50名、電気工学科・定員50名、応用物理学科・定員50名）
〃 .10	工学部新校舎（3号館）完成
1964. 4（昭和39年）	永井健三工学部長就任
1965. 8（昭和40年）	工学部4号館完成
1966. 4（昭和41年）	大学院工学研究科修士課程設置（応用物理学専攻・定員10名）
〃 .10	東北学院大学工学会設立
1967. 4（昭和42年）	東北学院大学工学部土木工学科設置（定員80名） 東北学院大学工学部4学科設置（機械工学科80名、電気工学科80名、応用物理学科80名）
1968. 4（昭和43年）	大学院工学研究科応用物理学科専攻博士課程設置（定員6名） 工学部5、6号館完成 学部定員増（機械工学科120名、電気工学科120名）
1969. 9（昭和44年）	工学部旭ヶ岡寄宿舎完成
1971. 4（昭和46年）	大学院工学研究科修士課程設置（機械工学専攻・定員10名） （電気工学専攻・定員10名） 工学部大型コンピューター導入
1974. 3（昭和49年）	大学院工学研究科博士課程設置（機械工学専攻・定員6名） （電気工学専攻・定員6名）
1976. 4（昭和51年）	工学部土木工学科定員増120名
〃 . 5	東北学院創立90周年記念式
1979. 3（昭和54年）	工学部計算センター完成
〃 .11	環境防災工学研究所設置
1980. 2（昭和55年）	機械工場（7号館）完成
1981.10（昭和56年）	工学部体育館完成
1982.11（昭和57年）	工学部図書館完成
1983.10（昭和58年）	工学部礼拝堂完成
1984. 4（昭和59年）	佐藤利三郎工学部長就任
1986. 5（昭和61年）	東北学院創立100周年記念式
1987.10（昭和62年）	工学部創設25周年記念式
1990. 4（平成2年）	大学院工学研究科土木工学専攻修士課程設置（定員10名）
1991. 3（平成3年）	新1号館（事務、食堂棟）完成
1992. 4（平成4年）	大学院工学研究科土木工学専攻博士課程設置（定員6名） 大学院工学研究科博士課程・前期課程・後期課程4専攻に改組 （機械工学専攻・電気工学専攻・応用物理学専攻・土木工学専攻） 学部定員1,760名、大学院定員64名、合計1,824名
〃 .10	工学部創設30周年記念式
1993. 3（平成5年）	東北学院大学が大学基準協会の維持会員となる
〃 . 4	新2号館（実験実習棟）完成
〃	大学設置基準改正に伴う新カリキュラムによる授業開始
1994. 3（平成6年）	新9号館（学生部室棟）完成
1998. 3（平成10年）	水理実験室および水撃実験装置新設 運動場・弓道場・ボウガン場・アーチェリー場・自動車部車庫新設
1999. 4（平成11年）	中鉢憲賢工学部長就任
2002. 4（平成14年）	鹿又武工学部長就任 機械工学科を機械創成工学科、電気工学科を電気情報工学科、応用物理学科を物理情報工学科、 土木工学科を環境土木工学科に改称
〃 .11	工学部創設40周年記念式
2005. 4（平成17年）	遠藤銀朗工学部長就任
2006. 4（平成18年）	工学部4学科を改組（機械知能工学科・電気情報工学科・電子工学科・環境建設工学科） 工学基礎教育センター完成
2007. 4（平成19年）	ハイテク・リサーチ・センター完成
2010. 4（平成22年）	バイオテクノロジー・リサーチ・コモン棟完成 大学院工学研究科を改組し、電子工学専攻（修士課程）を設置 土木工学専攻を環境建設工学専攻に名称変更
2011. 4（平成23年）	伊達秀文工学部長就任 工学総合研究所設置
2012. 4（平成24年）	大学院工学研究科電子工学専攻修士課程を博士課程に課程変更 工学研究科応用物理学専攻博士課程廃止
〃 . 11	工学部設置50周年記念式
2014. 4（平成26年）	中沢正利工学部長就任
2015. 8（平成27年）	武道場完成
2017. 4（平成29年）	工学部を改組し、電気情報工学科を電気電子工学科に名称変更、新たに情報基盤工学科を設置 し、電子工学科は募集を停止